



# 『感染症に備える医療・公衆衛生』 コロナと自治体 2

長友 薫輝 (佛教大学社会福祉学部)

NAGATOMO MASATERU



# 感染症に備える 医療・公衆衛生

## コロナと自治体 2

長友薫輝 編著



いまこそ公的医療費抑制策の転換、  
公衆衛生体制の強化を図る必要がある

政府は医療供給体制や公衆衛生体制を整備せず、抑制を主眼とした政策を継続してきた。その結果、コロナ感染拡大に各地域が対応できない状況となる。感染症に備えるには、公的医療費抑制策の転換、公衆衛生体制の強化を図る必要がある。本書はこの問題意識のもと、医療・公衆衛生政策の変遷、コロナ禍での各地域の病院、保健所などの現場の対応と課題を紹介し、医療・公衆衛生体制の改善を提言する。

## コロナ禍は、ほぼ「人災」

- ①感染の波は何度も来る（歴史から学ぶ）
- ②感染をコントロールするのが政府の役割。いつの時代も。
- ③現場の努力、人々の自己責任、助け合いに依存している状態。
- ④「自宅療養」というあいまいな用語規定、数字の操作などが散見。

## 感染症に備える医療・公衆衛生

- ① コロナ禍（ほぼ人災）にもかかわらず、コロナ前の政策を継続または加速。なぜ？
- ② コロナ禍を援用して、「惨事便乗型」の対応
- ③ 非公表で非科学的なデータを根拠に政策展開



## 公的医療費抑制の転換、公衆衛生体制の強化へ

- ①政府は医療供給体制や公衆衛生体制を整備せず、抑制を主眼とした政策を継続してきた。
- ②その結果、コロナ感染拡大に各地域が対応できない状況となる。
- ③感染症に備えるには、公的医療費抑制策の転換、公衆衛生体制の強化を図る必要がある。



## 本書の目的

本書はこの問題意識のもと・・・

医療・公衆衛生政策の変遷、コロナ禍での各地域の病院、介護事業所、保健所などの対応と課題を紹介し、医療・公衆衛生体制の改善を提言するもの。

# 『感染症に備える医療・公衆衛生』コロナと自治体2 の内容

- 1 コロナ禍で明らかになった地域医療の危機(長友薫輝)
- 2 地域住民のいのちを守る砦としての自治体病院に  
千葉県からの報告・新型コロナウイルス対応での自治体病院の役割発  
揮と課題も明らかに(長平 弘)
- 3 新型コロナで鮮明になった医療・介護の現実(鈴木ひとみ)
- 4 新型コロナと日本の公衆衛生—その特徴と課題(松田亮三)
- 5 保健所の統廃合がもたらした現実と今後の課題(亀岡照子)
- 6 コロナ禍で脆弱な県の人員体制が浮き彫りに(谷田 誠)



# 感染症に備える 医療・公衆衛生

## コロナと自治体 2

長友薫輝 編著



**いまこそ公的医療費抑制策の転換、  
公衆衛生体制の強化を図る必要がある**

政府は医療供給体制や公衆衛生体制を整備せず、抑制を主眼とした政策を継続してきた。その結果、コロナ感染拡大に各地域が対応できない状況となる。感染症に備えるには、公的医療費抑制策の転換、公衆衛生体制の強化を図る必要がある。本書はこの問題意識のもと、医療・公衆衛生政策の変遷、コロナ禍での各地域の病院、保健所などの現場の対応と課題を紹介し、医療・公衆衛生体制の改善を提言する。